

少数台数のリコール届出の公表について（平成21年6月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成21年6月は21件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：いすゞ自動車株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|------|--|------|--------------------------|
| 6月2日 | 2317 | 車名：いすゞ 型式：KL-LV280L1(改) 他 通称名：エルガ | 33 | 平成16年7月28日～ 平成19年1月8日 |
| 不具合の部位等 | | CNGエンジンを搭載した大型路線バスにおいて、ガスミキサー（混合器）の燃料流量調整スクリュの調整が不適切なため、空気量に対して燃料が不足することがある。そのため、高負荷領域で出力不足となり、最悪の場合、窒素酸化物の排出量が増加するおそれがある。 | | |

2. 届出者：コマツユーティリティ株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|------|--|------|---------------------------|
| 6月5日 | 2319 | 車名：コマツ 型式：EDM-WA106A 他 通称名：WA30-6 他 | 83 | 平成20年4月16日～ 平成20年8月18日 |
| 不具合の部位等 | | 燃料タンクに備えられている水抜き弁において、取り付け角度が不適切なため、悪路走行時に当該水抜き弁の操作レバーが路面等と接触する場合がある。そのため、当該水抜き弁が開き燃料が漏れるおそれがある。 | | |

3. 届出者：コマツユーティリティ株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|------|--|------|---------------------------|
| 6月5日 | 2320 | 車名：コマツ 型式：KDP-M252 通称名：FD35 他 | 10 | 平成20年8月4日～ 平成20年10月16日 |
| 不具合の部位等 | | フォークリフトのメインハーネスにおいて、組立作業指示が不適切なため、当該ハーネスが適切に固定されていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ハーネスがヘッドガードと燃料配管にはさまれ、損傷し、最悪の場合走行不能になるおそれがある。 | | |

4. 届出者：コマツユーティリティ株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|--|-----------------------------|------|---------------------------|
| 6月5日 | 2321 | 車名：小松 型式：M156 他 通称名：- | 33 | 平成9年12月17日～ 平成16年3月23日 |
| 不具合の部位等 | <p>燃料装置において、燃料ホースの取回しが不適切なため、当該ホースが変速機と干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、走行中の振動により燃料ホースが損傷し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。</p> <p>メインハーネスの配索が不適切なため、当該ハーネスがフレームと干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、走行中の振動により当該ハーネスが損傷し、最悪の場合、走行不能となるおそれがある。</p> <p>動力伝達装置において、トルクコンバータホースの取回しが不適切なため、当該ホースがフレームと干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、走行中の振動により当該ホースが損傷し、最悪の場合、オイルが漏れ走行不能になるおそれがある。</p> <p>バッテリー配線において、架装時の指示が不適切なため、当該配線の配索が変更され、トルクコンバータのオイル点検棒及び油圧ホースと干渉する場合がある。そのため、そのままの状態で使用続けると、当該配線が損傷し、最悪の場合、火災となるおそれがある。</p> | | | |

5. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|---|---|------|---------------------------|
| 6月11日 | 2328 | 車名：三菱 型式：KC-FK618E 他 通称名：ふそうファイター | 41 | 平成7年9月19日～ 平成10年11月27日 |
| 不具合の部位等 | <p>ABS（アンチロックブレーキングシステム）を搭載した中型トラック（消防車）において、放水用ポンプの流量調整ロッドと燃料配管及びエア配管との隙間が不足しているため、干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用続けると当該配管が損傷して燃料漏れやエア供給不足が発生するおそれがある。</p> | | | |

6. 届出者：Ferrari Japan株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 輸入期間 |
|---------|--|---|------|---------------------------|
| 6月16日 | 外1588 | 車名：フェラーリ 型式：ABA-F430 他 通称名：F430 他 | 7 | 平成19年11月4日～ 平成20年7月22日 |
| 不具合の部位等 | <p>変速機のクラッチハウジング内Oリングにおいて、異品が組み付けられたものがある。そのため、当該Oリングが作動油により膨潤し損傷すると、変速機の作動油に空気が混入するとともに作動油が漏れ、最悪の場合、クラッチの断続が出来なくなるおそれがある。</p> | | | |

7. 届出者：Ferrari Japan株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 輸入期間 |
|---------|---|--|------|---------------------------|
| 6月16日 | 外1589 | 車名：フェラーリ 型式：GH-F430S 他 通称名：F430スパイダー 他 | 60 | 平成17年4月15日～ 平成19年12月2日 |
| 不具合の部位等 | <p>エンジンルーム内において、幌を作動させるための、作動油パイプの耐熱性が不足しているため、排気管の熱により当該パイプに細い亀裂が生ずることがある。そのため、そのまま使用続けると当該パイプが破損し、漏れた作動油が排気管にかかり、最悪の場合、火災に至る可能性がある。</p> | | | |

8. 届出者：日産ディーゼル工業株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|---|---|------|---------------------------|
| 6月18日 | 2330 | 車名：ニッサンディーゼル 型式：ADG-CD4XL 他 通称名：- | 86 | 平成17年9月28日～ 平成20年9月18日 |
| 不具合の部位等 | 制動用エアタンクブラケットの強度が不足しているため、当該ブラケットに亀裂が発生するものがある。最悪の場合、当該ブラケットが折損し、ブレーキ用エアチューブが損傷して、制動力が低下するおそれがある。 | | | |

9. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|---|---|------|---------------------------|
| 6月18日 | 2331 | 車名：三菱 他 型式：BKG-MS96JP 他 通称名：ふそうエアロエース 他 | 44 | 平成19年12月7日～ 平成21年4月13日 |
| 不具合の部位等 | 大型バスにおいて、車掌席背当フレーム下部の形状が不適切なため、車掌席格納時に当該部と座席ベルトが接触し、損傷する場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、座席ベルトが切損し、乗務員の拘束ができなくなるおそれがある。 | | | |

10. 届出者：住友建機株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|---|--|------|---------------------------|
| 6月24日 | 2333 | 車名：住友 型式：A50A1 通称名：住友アスファルト・フィニッシャ | 21 | 平成15年1月6日～ 平成15年12月18日 |
| 不具合の部位等 | 消音器に備えられている水抜き穴の位置が不適切なため、エンジン始動時に排出される高温の水分がアクセルケーブルにかかる場合がある。そのため、当該ケーブルの被覆が熔損しケーブルが固着するため、アクセル操作ができなくなるおそれがある。 | | | |

11. 届出者：住友建機株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|---|--|------|--------------------------|
| 6月24日 | 2334 | 車名：住友 型式：A50A1 他 通称名：住友アスファルト・フィニッシャ | 83 | 平成15年3月6日～ 平成18年9月22日 |
| 不具合の部位等 | アスファルト・フィニッシャの、エンジン制御用電気回路において、回路内に備えられているリレー（バッテリーリレー）の電気抵抗値が低いため、当該回路に過大な電流が流れる場合がある。そのため、リレーの損傷やヒューズの溶断が発生し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある。 | | | |

12. 届出者：エルシーアイ株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|--|---|------|-------------------------|
| 6月24日 | 外1590 | 車名：ロータス 型式：ABA-1119 他 通称名：エリーゼS 他 | 82 | 平成20年6月2日～ 平成21年5月7日 |
| 不具合の部位等 | リヤハブベアリングの組み付け工程において、リヤハブベアリング固定ボルトの締め付けトルクが不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ボルトが緩み、最悪の場合、走行安定性が損なわれるおそれがある。 | | | |

13. 届出者：いすゞ自動車株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|--|--|------|--------------------------|
| 6月30日 | 2340 | 車名：いすゞ 型式：PKG-CYL77V8 他 通称名：ギガ 他 | 22 | 平成20年12月8日～ 平成21年3月4日 |
| 不具合の部位等 | デジタル式運行記録計（自TD - 6）付き運行情報システムを搭載している車両において、当該システムの車載機のプログラムが不適切なため、データ処理量が過多となった場合、プログラムが停止することがある。そのため、運行記録計への信号送付が停止し、記録ができなくなるおそれがある。 | | | |

14. 届出者：いすゞ自動車株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|--|--|------|---------------------------|
| 6月30日 | 2341 | 車名：いすゞ 型式：PA-FRR34L4 他 通称名：フォワード 他 | 54 | 平成18年8月23日～ 平成19年7月10日 |
| 不具合の部位等 | 運行記録計付き速度計（タコグラフ）において、販売店のオプション部品表の記載内容が不適切なため、速度計の指示の範囲が車両の性能上の最高速度を表示できない速度計を取り付けた車両がある。 | | | |

【参考】平成21年6月のリコール届出総件数

| | | 内 訳 | |
|-----|-----|--------------|--------------|
| | | 対象台数 100 台以上 | 対象台数 100 台未満 |
| 国産車 | 27件 | 9件 | 18件 |
| 輸入車 | 9件 | 6件 | 3件 |
| 計 | 36件 | 15件 | 21件 |

リコール届出番号 2325、2326、2327、2344、2345、2346 及び 2347 は公表済みのため、本公表には含まれていません。